

# 金属加工工場における個別分散型空調

この工場では、電磁弁等を製造しておりますが、A棟新設にあたり、空調設備に氷蓄熱空調システムを採用しました。

氷蓄熱空調システム採用による負荷の夜間移行により、契約電力の増加を最小限に抑えるとともに、産業用蓄熱調整契約加入により、電気料金の低減が図られました。

また、最近、工場内にB棟を新設する際にもA棟での作業環境改善効果が大きかったことから、氷蓄熱空調システムを採用しました。

## 改善効果

(A棟実績)

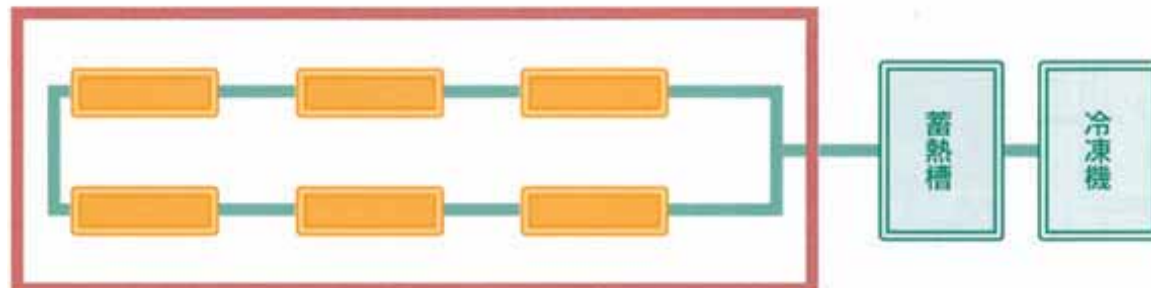
- 夜間への負荷移行により電気料金が低減しました。  
(約110万円/年)

## 設備概要

(A、B棟合計)

- 産業用蓄熱調整契約適用負荷271kW
  - ・氷蓄熱システム251kW
  - ・その他20kW
- 建物概要
  - ・総面積5,725m<sup>2</sup>
  - ・空調面積5,198m<sup>2</sup>
- 氷蓄熱槽83m<sup>3</sup>

## システム図



■■■■ 天井埋込型室内機

- 産業用蓄熱調整契約適用負荷
  - A棟:112kW B棟:159kW
  - ・氷蓄熱空調システム
    - A棟:7.5kW×13台 B棟:11.8kW×13台
    - ・その他
      - A棟:14kW B棟:6kW
- 氷蓄熱槽
  - A棟:43m<sup>3</sup> B棟:40m<sup>3</sup> 合計83m<sup>3</sup>